

第5回賃金学習会



10月17日14時から本部会議室にて、第5回賃金学習会を開催しました。26名の仲間が参加し、本部から肥後情宣部員に参加いただきました。

学習会では、夏季手当や21春闘で現れた会社の姿勢を今一度捉え返した中で、JR総連作成の職場討議資料を活用し、日本型雇用の大転換を図る経営側の狙いについて参加者と議論しました。参加者からは、「成果主義への前段階ではないか？年功賃金が変わられる危機感を感じた」「夏季手当交渉で未加入者から、2.0は黒字だった時の利益分が還元されたものではないか？とされた。その後、JR西やJR東海の賃金制度を学び、これまでの21春闘や夏期手当の姿勢を振り返ったなかで今回の学習を受けて、賃金制度改定が狙いなのでは？と思った」と参加者から学習を通じた感想が出されました。

その他にも、「夏期手当交渉で『赤字だからしょうがない』と宣伝し低額回答を下支えした社友会では、そもそも団体交渉をすることはできない」「未加入者の方々へ、団体交渉をすることができる労働組合の必要性和社有会の役割を明らかにし、JR東労組への再結集を訴え、更なる組織の団結強化をつくっていききたい」と年末手当のたたかいに向けた決意も多く仲間から出されました。

私たちの生活を守っていくために、要求の根拠を堂々と訴えて、職場からたたかいをつくりだしていきましょう！

**JR東労組への結集を呼びかけ団結を強化し
職場からのたたかいで年末手当の満額回答を勝ち取ろう！**

